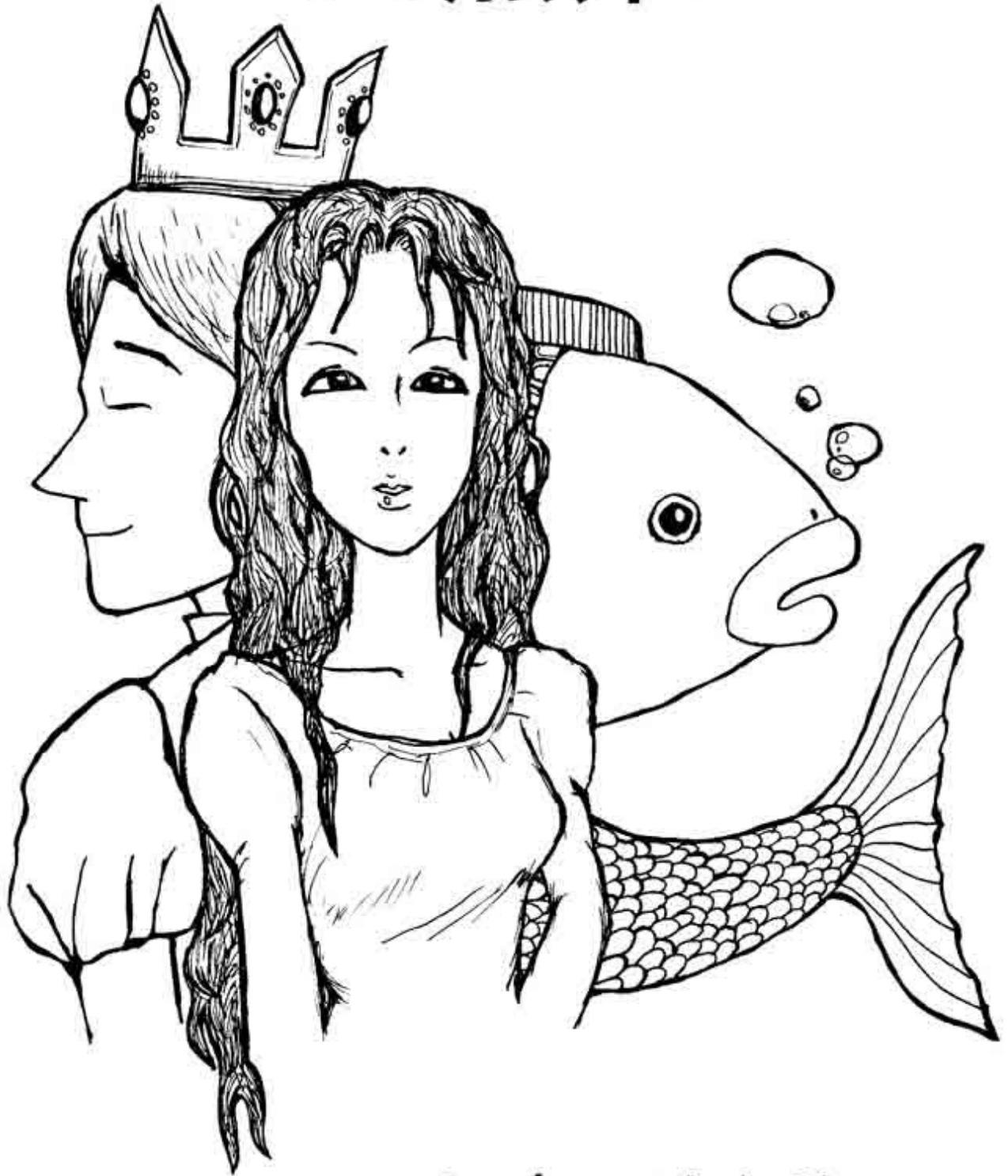
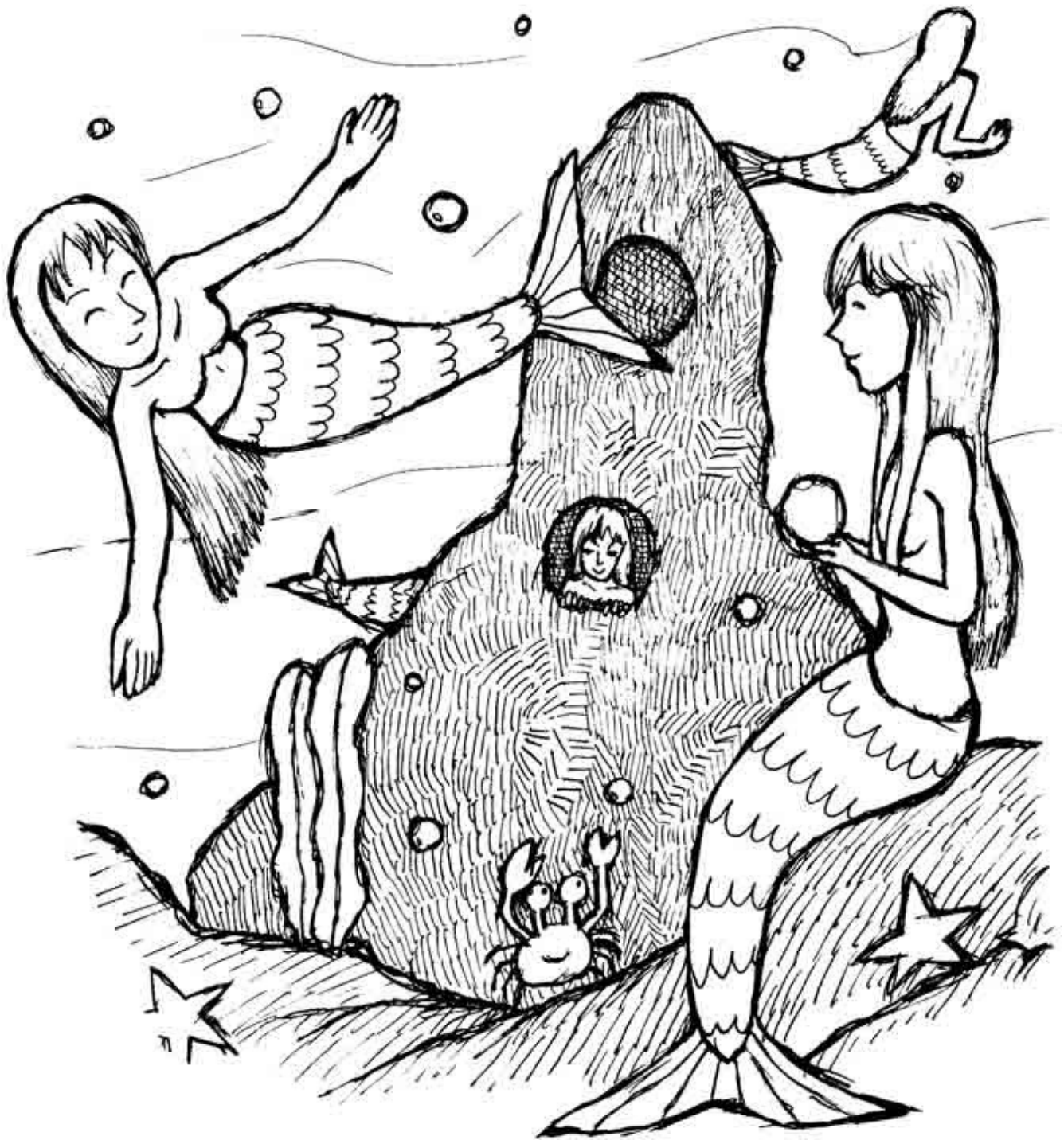


# 人魚姫



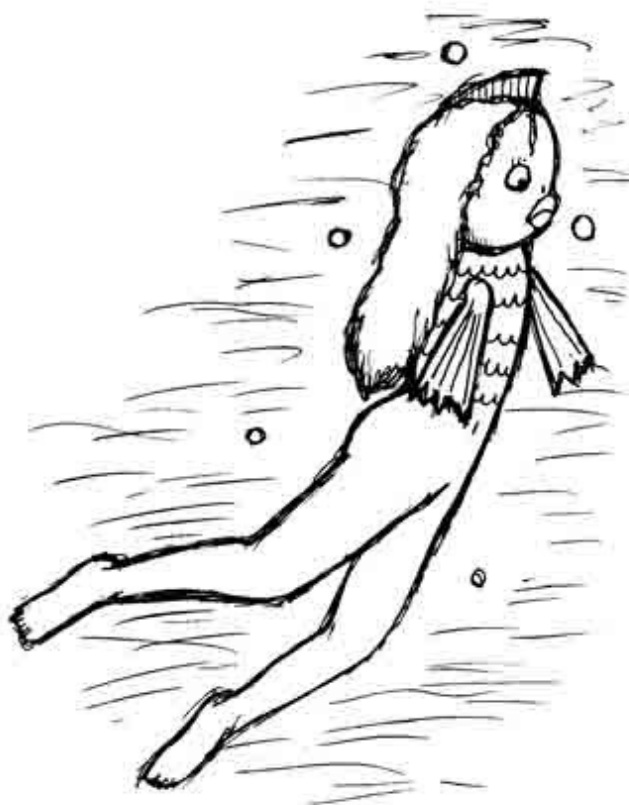
にき けんじ





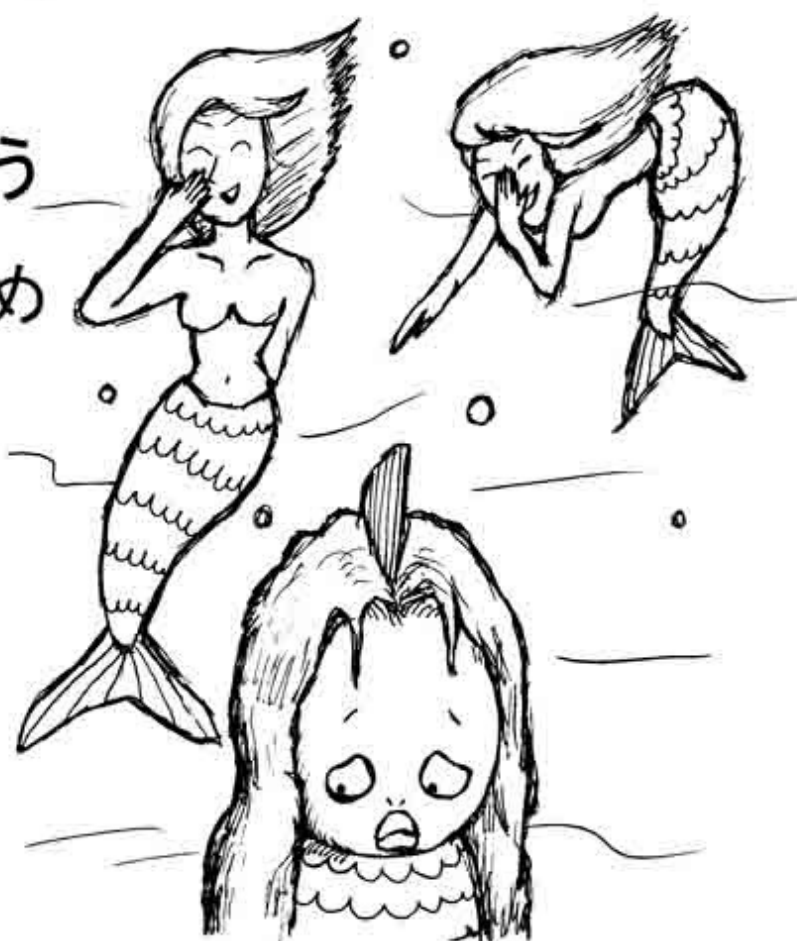
海の底に 生臭い 人魚の国が  
ありました



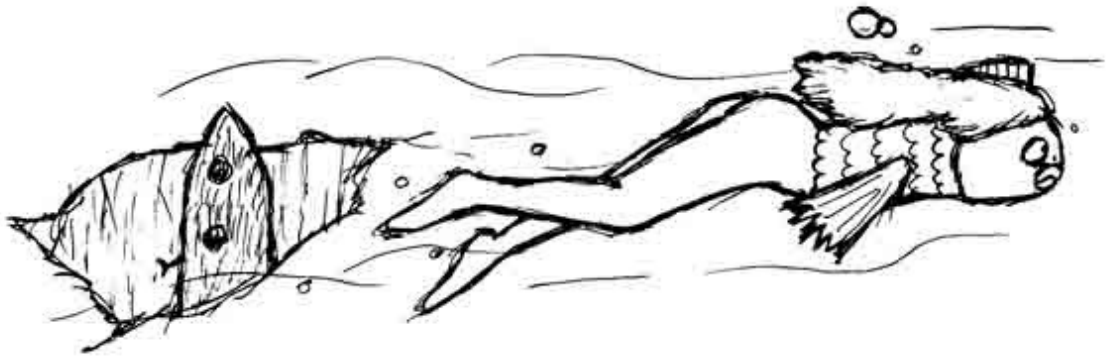


そこに 上半身が  
魚で 下半身が  
人間の 人魚姫が  
いました

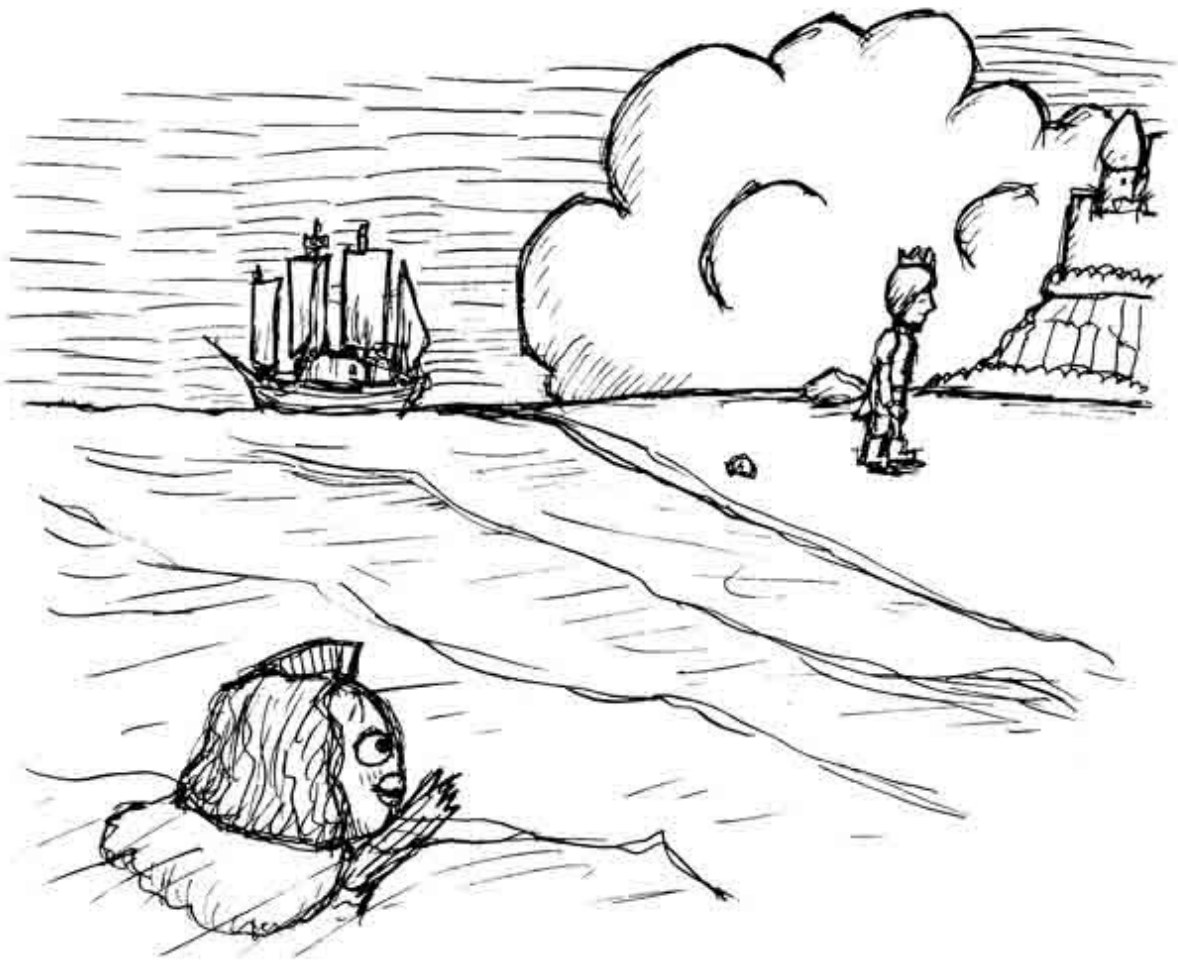
みんなと ちがう  
人魚姫は いじめ  
られ いつも  
一人ぼっち







とうとう 人魚姫は国を とびだして  
しまいました



ある日 人魚姫は 浜辺を歩く  
王子様に恋をしました





[ . . . . . ]



そのうち 人魚姫も  
大人に なるにつれ  
手をはえて ウロコが  
はがれおち 人間の  
姿に 成長していき  
ました





王子様は 美しい人魚姫に  
一目ぼれしました



それから すぐに  
二人の 交際が  
はじまりました

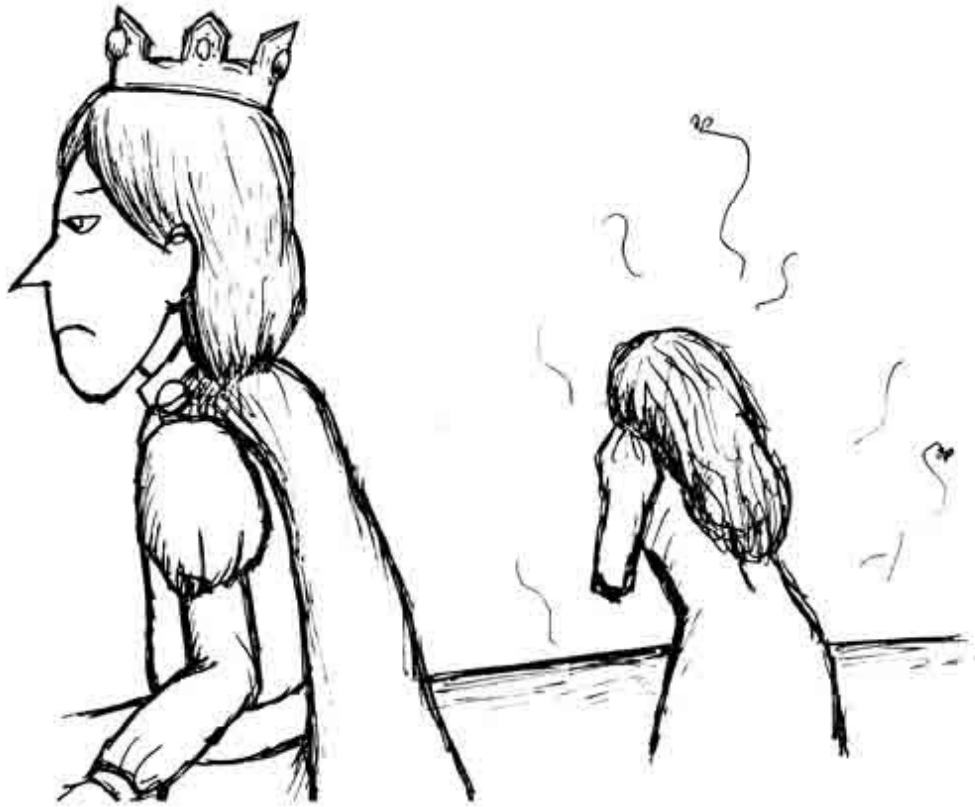


でも 日がたつにつれ  
人魚姫は ヌルヌル  
してきて どんどん  
生臭く なって  
きました



王子は ヌルヌルで  
生臭い 人魚姫の  
ことが 嫌いにな  
りました





とうとう 生臭い 人魚姫は 王子に  
ふられてしまいました

そして 行く当ての  
ないまま 町を  
さまようように  
歩きました

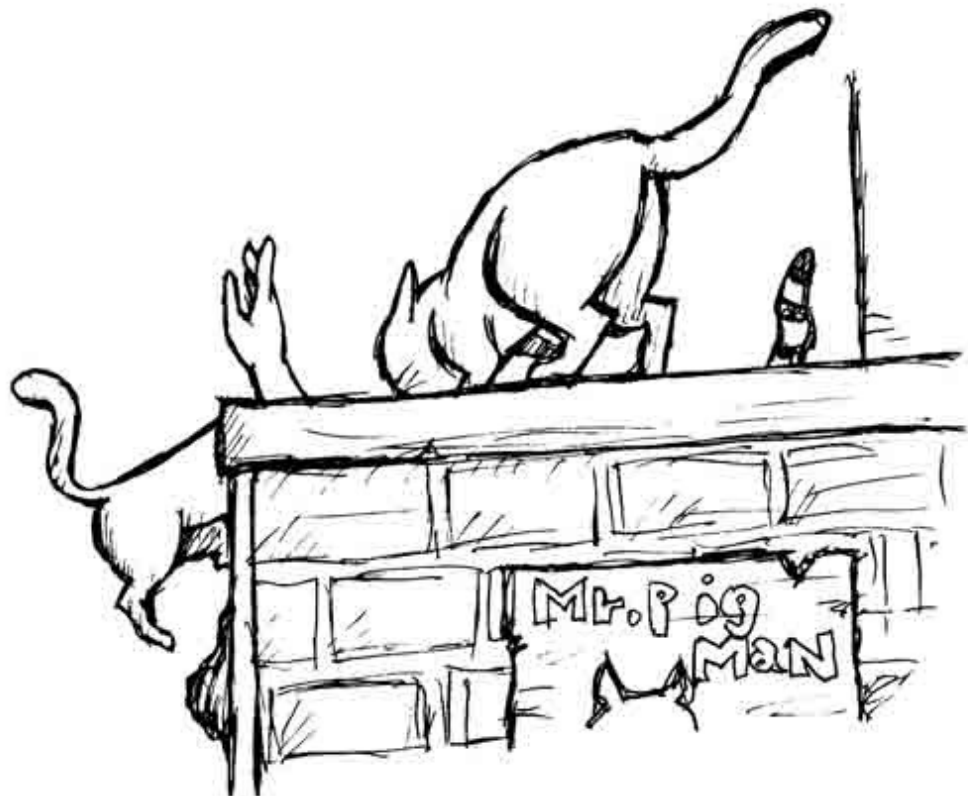








すると 生臭い  
臭いに 町中の  
ねこが あつまって  
きました



そして 路地裏で 生臭い 人魚姫は  
たくさんの ねこに おそわれ  
死んでしまいました ニャー END